

平成22年度第2期女性のための教養講座～女性大学～ 社会とつながり、心豊かに 開催結果の概要

月 日	演 題	講 師
9/28 (火)	文化と福祉のまちづくり	北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科准教授 長谷川聡
10/5 (火)	家族の絆 ～喪失から再生、そして新生へ～	北海道武蔵女子短期大学教養学科教授 梶井祥子
10/12 (火)	豊かなシニア人生のために	NPO法人シーズネット代表 岩見太市
10/19 (火)	おいしさの科学 －「おいしい」とはどういうこと？	藤女子大学人間生活学部食物栄養学科教授 高橋セツ子
10/26 (火)	竜馬を愛した女性たち	札幌大学教授（哲学） 鷲田小彌太
11/2 (火)	「さおだけ屋」と「食い逃げ」から 考える会計の話	北星学園大学経済学部経営情報学科教授 大原昌明
11/9 (火)	オーロラからのメッセージ	北海道大学理学研究院自然史科学部門教授 渡部重十
11/16 (火)	モンパルナスの灯 ／中江紀洋 時の彼方へ	北海道立近代美術館 学芸第一課長 佐藤幸宏／主任学芸員 久米淳之
11/24 (水)	「どうする？女性の雇用・労働」	北海学園大学経済学部経済学科准教授 川村雅則
11/30 (火)	現在（いま）を知る ～最近のニュースから～	北海道新聞社論説委員 青木隆直



平成22年9月28日（火）

文化と福祉のまちづくり

北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科准教授 長谷川聡

個人的な楽しみと捉えられがちな趣味やサークルの活動。しかし、自分たちが好きでやっていることが、どこかで人の役に立つことがあります。講義では、先生ご自身が関わられたさまざまな文化芸術活動や地域活動での事例を挙げながら、文化活動は福祉活動の基本となる人の絆を生み、それがまちの豊かさにつながっていくとお話いただきました。

平成22年10月5日（火）

家族の絆～喪失から再生、そして新生へ～

北海道武蔵女子短期大学教養学科教授 梶井祥子

急速な社会状況の変化を背景に、家族のあり方も多様化しています。講義では、まず家族や結婚、親子関係がどのように変化してきたかをお話いただきました。そして、“生きづらさ”の中にいる若い世代には人とつながる力を持ってほしい、また、我々は次世代に対し、注意深く親身な関心を継続的に注ぎ、受け入れるまなざしを持って関わっていくことが大事とのお話をいただきました。



平成22年10月12日（火）



豊かなシニア人生のために

NPO法人シーズネット代表 岩見太市

高齢者を取り巻く環境が変わり、誰にも看取られずに住居内で亡くなる「孤立死」など、少子高齢人口減社会の中、暮らしの困り事が家の中で起こっています。講義では、弱みを見せ合い、互いの家の中に入り合える人間関係、そして、人と人とを上手に結びつける横型の仕組みのある地域が、問題解決への道筋となるのではないかと、シニア人生の生き方についてお話いただきました。

平成22年10月19日（火）

おいしさの科学ー「おいしい」とはどういうこと？

藤女子大学人間生活学部食物栄養学科教授 高橋セツ子

おいしさとは食べものを摂取するときに引き起こされる快い感覚と表現できます。そして、おいしさには食べものの味・色・食感等のみではなく、食べる人の心身の状態や環境等、食べる人を取り巻くさまざまな要因が影響します。講義では、これらの要因について説明いただくとともに、日本人のおいしさの文化の特徴やおいしさの評価方法等についてお話いただきました。



平成22年10月26日（火）



竜馬を愛した女性たち

札幌大学教授（哲学） 鷲田小彌太

敵でさえ好ましく思う愛嬌がしたり落ちる坂本竜馬。竜馬は家族のだから、また幼なじみの加尾、登勢、龍、佐那など、周りにいた女性たちみんなから愛されました。講義では、新時代を拓こうという野望を抱きつつも、「武士」以外の何者でもなかった竜馬の人物像に迫りながら、竜馬を愛した数々の女性たちについてお話いただきました。

平成22年11月2日（火）

「さおだけ屋」と「食い逃げ」から考える会計の話

北星学園大学経済学部経営情報学科教授 大原昌明

書店に並ぶあまたの会計本。今、会計がちょっとしたブームです。講義では、その先鞭を付けた本を参考に、会計とはどういうものかについて説明いただくとともに、身近に役立つ会計的発想についてお話いただきました。そして、お金とモノの動きを2つの側面（原因と結果）から見ることで、最良の判断ができるようになるとの話をいただきました。



平成22年11月9日(火)



オーロラからのメッセージ

北海道大学理学研究院自然史科学部門教授 波部重十

地球のオーロラは大気中の酸素や窒素が出す固有の色をしています。オーロラを観測することにより、その星の大気と環境を知ることができます。講義では、数々の写真や画像を見ながら、オーロラが見える仕組みや、他の惑星のオーロラなどについて説明いただきました。そして、オーロラは地球という星に生命が住んでいるという宇宙への“メッセージ”であるとお話いただきました。

平成22年11月16日(火)

モンパルナスの灯/中江紀洋 時の彼方へ

北海道立近代美術館学芸第一課長 佐藤幸宏/主任学芸員 久米淳之

北海道立近代美術館の講堂にて、各々の展覧会について作品等についての説明をいただきました。講義後は各自にて展覧会を自由観覧。パリ・モンパルナスで様々な芸術家たちにより繰り広げられた創作活動と伝説的な群像模様を紹介した「モンパルナスの灯」、そして、一貫して過去と現在をつむぐ「時」をテーマに作品を手がける彫刻家・中江紀洋の造形の軌跡を紹介した「中江紀洋 時の彼方へ」を楽しみました。



平成22年11月24日(水)



「どうする？女性の雇用・労働」

北海学園大学経済学部経済学科准教授 川村雅則

働く女性たちの取り組みを後押しにして、かつてに比べれば男女平等が前進したとはいえ、男女の格差はなお大きく存在します。講義では、図表や新聞記事、テレビ映像を用いながら、男女差別はどこまで解消されたのか、男女平等はどこまで達成されたのか、また、我が国の生活保障のあり方に問題点はないのかなど、雇用・労働分野における現状や問題点についてお話いただきました。

平成22年11月30日(火)

現在(いま)を知る～最近のニュースから～

北海道新聞社論説委員 青木隆直

最近様々なことが起きている日本をめぐる国際情勢。今回は「隣国との関係をちょっと考えてみませんか？」をテーマにお話いただきました。隣国のことをきちんと冷静に見ること、複雑化する国際情勢、多様化する国際社会の中で相互理解をすることが必要ではないか、そして、対立関係ではなく、共存関係を目指していくべきとのお話いただきました。

